

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			意見はありません。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			意見はありません。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		意見はありません。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7			意見はありません。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	1		・保護者がある程度固定化した活動をお願いしているため。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3		・交流のメリットが良くわからないので機会の必要性は高いとは思えません。 ・特に希望しない。
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7			意見はありません。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7			意見はありません。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7			意見はありません。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4		・私自身時間を作れなくて参加できていない為申し訳なく思っています。 ・特に希望しない、学校卒業後は必要だと思う。 ・保護者の都合により参加する人数が限定されているためによって、事業所側の対応の仕方のみであれば「はい」です。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			意見はありません。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7			意見はありません。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3		・個別に配られているので情報は受けている。
	14	個人情報に十分注意しているか	7			意見はありません。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7		意見はありません。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7		意見はありません。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7		意見はありません。
	18	事業所の支援に満足しているか	7		意見はありません。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基準は満たしているが、利用人数が5名になるともうひと部屋あった方が、活動や機能訓練がスムーズに行える。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	必要な配置数は配置しているが、質の高い支援を提供するために、理想は一人ひとりと向き合いたいため増員が望ましい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日打ち合わせや振り返りを行いながら業務改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月に1回事業所全体での研修 ・不定期で法人内の放デイ事業所での勉強会(来年度は2カ月に1回)
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校や他施設での取り組み(具体的な支援方法やニーズ)を定期的に聞き取りしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			今後は福山特別支援学校のツールなどを参考にしてツールを作り替えたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			適宜新しい事に挑戦もしているが、保護者ニーズや子供の特性から固定化したほうが良いケースもある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は習慣化されたものや機能訓練を主に過ごしていて、休日・長期はプラスして給食や外出体験などで支援を行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		当初は集団活動も重視して取り入れていたが、子供の状態(体調や情緒面)が変わってきたので、皆で一緒に活動を行う事	

					は難しくなっている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、終礼として支援の項目毎に様子を出し合っ様子を把握し振り返っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要時は計画を見直し、大きく状況が変わればその都度見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当は決まっているが、誰が参加してもいい様に情報など共有している。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			受診に同席させてもらったり、保護者経由で緊急時の対応指示をもらっている。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援時の計画を確認し担当の人に聞き取りを行う。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			若草園(肢体不自由児通所事業所)と連携を取って助言をもらっている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時・連絡帳・電話・SNS等を使って、情報交換を行っている。保護者の許可をもらい学校の連絡帳も確認させてもらっている。

関係機関や保護者との連携

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	具体的な支援は行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			困ったことを相談されるケースはあるが事業所で取り組んでいることを伝え家庭でも同じことをやってくれている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		重症心身障害児を中心とした学校に多くの児童が在籍しており、保護者同士の繋がりや学校で形成されている。また制度やサービス利用に関する知識を有されている保護者も多い。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			こまめに保護者と情報共有を行い、気づきや要望に対し適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に通信を作成し、子供の様子や活動状況の情報公開を行っている。また活動時の様子を写真で保護者にお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人ひとりに合った支援をおこなっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			作品展など地域で行事を開催したり、地域のセラピストなどをお招きする等して地域に開かれた運営を心掛けている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		個別の緊急マニュアルを作成し、保護者へ説明しているが、業務マニュアル等は確認してもらっていない。昨年からの災害など非常時の取扱いを事前に保護者へ周知しておく必要性を感じていたが実施には至っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災や防犯を想定した訓練を行っている。取り組み状況はお知らせしていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回、虐待防止研修を開催している。また本年度は法人内の放デイ事業所が集まり各事業所での取り組みなどを共有した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づく対応を行っている。事業所内でも情報を共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			